

故事成語 — 助長

宋人^{そうひと}に其^その苗^{なへ}の長^{ちやう}ぜざるを関^{うれ}へて之^{これ}を握^ぬく者^{もの}有^あり。

芒^{ぼう}然^{ぜん}として帰^{かへ}り、其^その人^{ひと}に謂^いひて曰^いはく、
「今日^{けふ}病^{つか}れたり。予^{われ}苗^{なへ}を助^{たす}けて長^{ちやう}ぜしむ。」と。

其^その子^こ趨^{はし}りて往^かきて之^{これ}を視^みれば、

苗^{なへ}は則^{すなは}ち槁^かれたり。

宋の人に、自分の苗が生長しないのを心配して

苗を引き抜いた者がいた。

へとへとに疲れた様子で帰ってきて、家族に言った。

「今日は疲れたよ。私は苗を助けて生長させてやったのだ。」と。

その子が走って畑に行つて見ると、

苗はもう枯れてしまつていた。